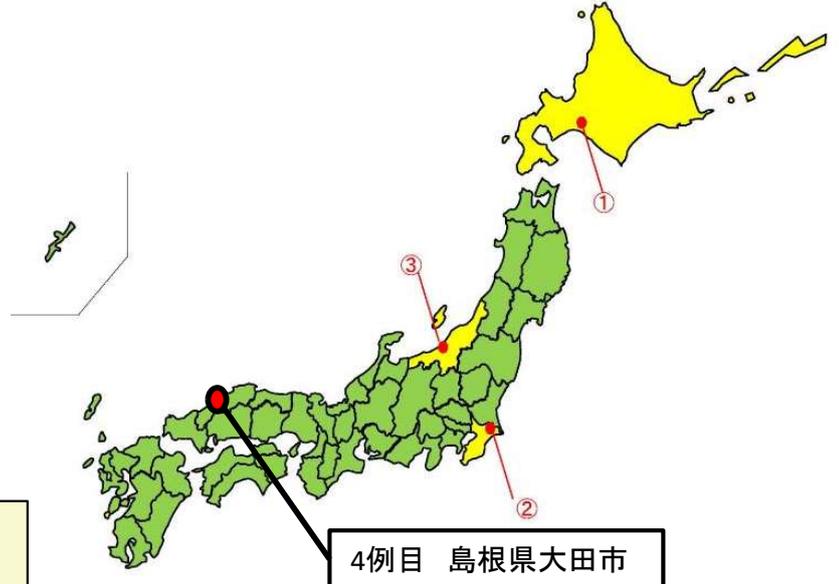


令和6年10月第17号(鶏)

島根県で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認 (シーズン国内4例目)

【概要】

所在地: 島根県大田市
飼養状況: 採卵鶏(約40万羽)
経緯: 10月30日まとまって死亡している旨の通報を受け、同日、簡易検査で陽性。31日遺伝子検査により高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確認。



異状を感じた際は家畜保健衛生所へ連絡を!!

- ★死亡率の急激な上昇(通常の2倍以上)
- ★沈うつ、チアノーゼ、まとまった死亡等

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r6_hpai_kokunai.html

⚠️ 引き続き、飼養衛生管理の確認と徹底をお願いします!

- ① 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒
- ② 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置・使用
- ③ 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒
- ④ 家きん舎に立ち入る者の手指消毒
- ⑤ 家きん舎ごとの専用の靴の設置・使用
- ⑥ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕
- ⑦ ねずみ及び害虫の駆除

特に集卵ベルト・除糞ベルトと壁のわずかな隙間などからウイルスを持ち込む小動物が侵入する可能性があります。破損等がみられたら速やかに補修してください。

隙間ができてしまう場合は、フェンス(できれば板)で侵入防止措置を!



<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

東部家保管轄地域の保健所より、養鶏場等の皆様へのヒトでの鳥インフルエンザの対応について同地域宛てにリーフレットが発行されていますので添付の資料を御確認ください。

東部家畜保健衛生所 Tel.0475-52-4101
※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください

養 鶏 場 等 で 働 い て い る 皆 さ ま へ

☑もし、働いている養鶏場等で、鳥インフルエンザが発生したら

早い段階での治療につなげるために、健康調査の実施にご協力ください。

皆様が日ごろ、生活やお仕事をなさっている状況において、万が一、鳥インフルエンザに感染していないか、現在の健康状況を確認させていただくとともに、感染した鳥やその排泄物などとの接触状況等をお聞きします。また、**感染した鳥やその排泄物などとの最終接触日から10日間(最終接触日を0日目として10日目まで)の健康状況を記録していただきます。**

☑もし、10日間の間に体調に異常が発生したら、

まずは保健所へ！！

接触後10日間の間に、体調に異常が発生した場合には、症状によって、受診できる医療機関が分かります。

医療機関を受診する前に、養鶏場の所在地を管轄する保健所に必ずご連絡ください！

☑普段の作業での留意点

鳥の死がいや糞をさわるときは手袋を使用する、鳥のフンが舞い上がるような作業の場合はマスクを着用する、作業後は手を石けんでしっかり洗う といった感染症予防を心がけましょう。

銚子市、旭市、匝瑳市内に養鶏場がある場合は、千葉県海匠保健所 八日市場地域保健センター 感染症担当へご連絡ください。

※他地域の方は管轄保健所へご連絡ください。

〒289-2144 匝瑳市八日市場イ2119-1

TEL 0479-72-1281 FAX 0479-73-3709

(開庁時間外は、夜間休日受付センター 043-223-2595へ
ご連絡ください。)



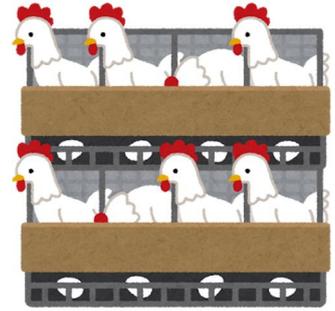
【参考】

アジアでは、最近でも鳥インフルエンザ患者が発生しています！！

ヒトの鳥インフルエンザって??

鳥類に対して感染性を示すA型インフルエンザウイルスによる感染症が、鳥インフルエンザです。

鳥インフルエンザの原因となるA型インフルエンザウイルスが鶏に対して高い病原性を示すウイルスに変異した場合に高病原性という表現をします。



鳥インフルエンザウイルスは、通常はヒトに感染しませんが、感染したトリに触れる等、濃厚接触をした場合などにきわめて稀にヒトに感染することがあります。このように、鳥インフルエンザウイルスが、トリ以外に、ヒトやその他の動物に感染した場合も鳥インフルエンザという病名を使用しています。

ヒトの鳥インフルエンザのうち、A(H5N1)及びA(H7N9)の鳥インフルエンザは、感染症法上は二類感染症に、それ以外の亜型の鳥インフルエンザは 四類感染症に位置づけられています。人における症状は、突然の高熱、咳などの呼吸器症状といった通常のインフルエンザのような症状から始まり、息切れ、肺炎の併発等に至り、重篤な症状となることが多く、今まで日本で発症した人は確認されていませんが、世界では、アジアやアフリカ、中東で、これまでに850人以上が鳥インフルエンザ(H5N1)を発症、450人以上が亡くなっています。また、主に中国で鳥インフルエンザ(H7N9)の感染者が確認され、これまでに300人以上が亡くなっています。

鳥インフルエンザA (H5N1) 発生国・地域及びヒトでの確定症例 (2003年11月以降)

(WHOの正式な公表に基づく)

